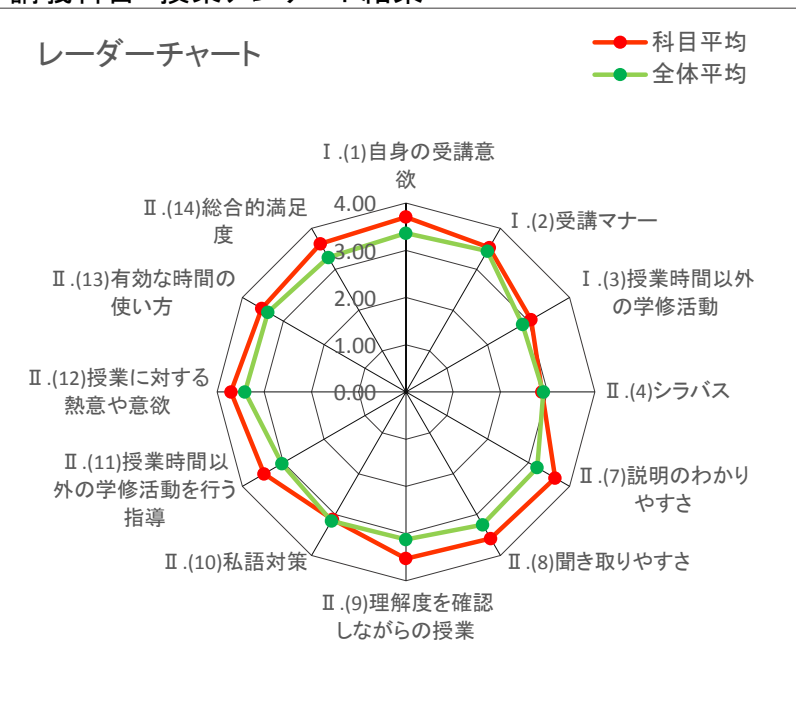
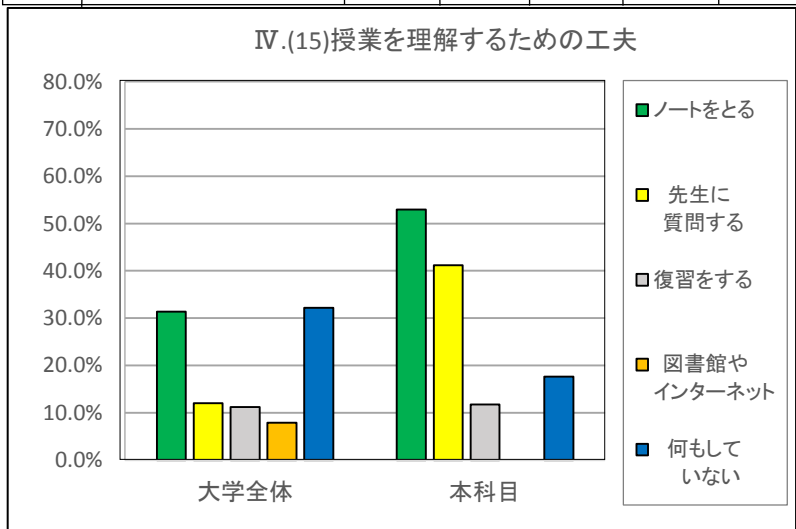


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	52.9%	41.2%	11.8%	0.0%	17.6%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	44107
科目名	漢文学入門
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.71	3.36
	I.(2)	3.53	3.45
	I.(3)	3.06	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.88	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.65	3.21
	II.(8)	3.59	3.25
	II.(9)	3.53	3.13
	II.(10)	3.12	3.16
	II.(11)	3.47	3.04
	II.(12)	3.71	3.41
	II.(13)	3.53	3.37
	満足度	II.(14)	3.63

①授業計画の達成度について
 「授業の目的を認識させた上で、授業計画に従って授業運営を行っているか。」は「やや思う」「そう思う」と答えた学生が半数以上を占めるが、「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた学生も存在する。4月の授業での説明で理解したと考えたのかもしれないと、分析する。「学習の到達目標、および難易度は適切だといえるか。(設問5、6)」では、難易度がやや高いと感じている学生が約35パーセント存在する。一方で約30%は難易度が高いと感じていない。アンケートの結果から考えて、ほぼ適切であったといえるのではなかろうか。

②授業の進め方について
 「声や言葉、説明は明瞭であるか。(設問7、8)」は設問7は3.65ポイント、設問8は3.59ポイントで、いずれも全体の平均を上回っている。漢文学は学生にとってなじみの少ない科目であることを考えると、この獲得したポイントはかなり良いと思われる。「学生の理解を確かめながら、授業を進めているか。(設問9)」も、3.53ポイントで、全体の平均を上回っている。「授業環境は守られているか。(設問10)」はアンケートでは3.12ポイントで、全体の平均とほぼ同じくらいである。授業の後半にグループ学習を取り入れ、各グループでの積極的な討論を推奨している。ただし討論にはいる前段階や終わった後に、メンバー同士コミュニケーションをとるために雑多な話をする事も許容している。ポイントが伸びない要因はこういうところにも隠されているかもしれないと思う。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢		
I.(1)~(3)	3.43	3.22
講義内容・方法		
II.(4)~(13)	3.43	3.18
総合的満足度		
III.(14)	3.63	3.29

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 総合的な満足度は3.63ポイントで、全体の平均を上回っている。学生たちの意欲の賜物ではなかったかと思う。授業教材としたのは、結婚したいと思いつながらなかなか結婚できない男性の物語だったのだが、授業の途中で「こんなんやってたら結婚できないよな」とか、「婚活ばっかり10年以上なんてタイヘンやな」とか、授業の途中に呟く学生の姿もあった。まるで茶の間でドラマを見てコメントをしているかのような反応をしてくれたことに、選定した内容に間違いはなかったと自信を得た。漢文であっても、面白い内容のストーリーが存在するという事を、今後も強く訴えていきたいと思う。